

米軍の感染拡大に 新型コロナ 歯止めを

沖縄、山口、広島で新型コロナの感染が拡大しています。いずれも在日米軍基地でクラスターが発生し、市中へ波及。米軍のさまざまなコロナ対策と、これを放置してきた日本政府の責任は重大です。



日米地位協定は改定を

日本政府は「在日米軍は厳格な措置をとっている」と強弁してきましたが、昨年9月から4カ月間、来日時の出国前検査が免除されていたことが明らかになりました。フリーパスで入国した米兵は日本各地で訓練を行っています。基地外への往来も頻繁にされ、マスク未着用の姿も多く確認されています。

背景には、米軍に特権を与える日米地位協定によって米軍関係者の検疫を免除してきた経緯があります。地位協定改定を求める声が高まっているにもかかわらず、政府は「日米同盟の抑止力のため」と称して米兵への入国制限の適用や地位協定改定をあくまで拒否しています。

早急に抜本的措置を

政府に求めます

- ▽米軍基地内の感染防止措置についての検証
- ▽米軍関係者への入国制限措置の厳格な適用
- ▽日米共同訓練への参加など米軍の国内移動の禁止
- ▽基地従業員の感染対策や家族のPCR検査
- ▽日米地位協定の抜本的改定

辺野古埋め立て

不承認

を支持します

沖縄県名護市辺野古の米軍新基地建設をめぐる、予定地の広大な軟弱地盤の改良工事のために政府・沖縄防衛局が出していた設計変更申請に対し、沖縄県知事は昨年11月、「不承認」を決定しました。辺野古の基地は造っても地盤沈下し、崩壊する危険があります。政府は知事の決定に従い、計画を撤回すべきです。

沖縄・名護市長選挙 支援募金にご協力ください

来年は沖縄・名護市長選挙が行われます（1月16日告示、23日投開票）。辺野古の米軍新基地建設中止、生物多様性に富む辺野古・大浦湾の海を守り、誇りある豊かな名護市を築くことを目指す「オール沖縄」の候補が、この4年間辺野古の問題に一切触れず、国と県との裁判も「見守る」ことしかしてこなかった基地容認の現職に挑みます。支援の募金をお寄せください。

《送り先》 郵便振替 名義：沖縄県統一連 記号01710-8-62723 ※名護市長選支援と明記のこと

辺野古新基地建設中止と普天間基地撤去を求める署名にご協力を！

日本平和委員会

2022年1月発行

一人ひとりの平和の願いをもとに行動する平和NGOです

<http://j-peace.org/>

東京都港区芝1-4-9平和会館4階

TEL03-3451-6377 FAX03-3451-6277